

# ！市民のわ

## フレッシュさん

このコーナーでは、まちのフレッシュさんをリレー方式で紹介します。宮崎さんは前回の山本さんの紹介です。



みやざき まいこさん  
(25歳・矢田町)

昨年10月から美容室「viva c e(ビバーチエ)」（相生町）で美容師として活躍。以前は別の美容室での経験もある。美容師をめざしたきっかけは高校生の頃。自分の髪を切りに行った時、そこで働く美容師さんの姿に自分の将来の夢を重ねた。「初めはシャンプーしかできなかったけど、今はすべて自分でできるようになりました。一つずつできるようになると楽しくなるし、お客さんに喜んで帰ってもらえるとうれしいですね」と微笑む。「着付けの勉強もしたい」と目標も話してくれた。

休日は友達と遊んだり、買い物へ行ったりと、まだまだ遊びたい盛り。「ぜひ一度お店に来てください。女性はいわゆる、男性はかっこよくプロデュースしますよ」と、PRも忘れなかった。

出身地 栃木県芳賀町



このコーナーでは、県外から市内へ転入された方の声を紹介합니다。

## 思えば 遠くへ 来たもんだ



の野見 ワカさん  
(68歳・下町)

昭和39年に東京で旦那さんと結婚し、その後47年に七尾へ。子どもが小さい頃は「叱るときに栃木弁になる」と、子どもに笑われたこともあると明かしてくれた。今でも栃木弁のアクセントが抜けず、人と話すと「どこから来たの?」と言われるそうだが、それもまた魅力だ。

栃木県には海がないため、「海も山も近くにあるのがいい。春は山菜採りに、秋はきのこ狩りに友達と一緒にでかけるのが楽しみ。海の幸も年中豊富で、七尾に来て良かった」と笑みを見せる。

一方で、卓球競技にも情熱を燃やす。10月9日から県内で行われる「ねりんピック石川2010」の卓球種目では、予選で約70人の相手を倒し石川県代表の座を勝ち取った。

「七尾に来てからいろんな人と出会い、いろんな事を経験させてもらった。夫の理解があったから、ここまで楽しくできた」と振り返る。その傍らで夫の弘さんが少し照れくさそうにする姿がとても印象的だった。

## 市長コラム

### 地域社会と絆が 幸せをつくる



七尾市長  
武元文平

9月20日中島のお熊甲祭。杵旗をかつぐ者、鉦(かね)・太鼓を打つ者、御輿をかつぐ者、酒を振る舞う者、道端で腰を下ろす者……。どの顔も、どの顔も真から祭りを楽しんでいる。

年に一度の祭り。老いも若きも集落一丸となって盛り上げている。今年、20戸足らずの集落で御輿が修復され約30年ぶりに御輿がお熊甲祭に参加したという。地域の大変なまとまりと意気込みだ。集落の先人たちが守ってきた伝統と誇りを継承し、次の世代に継ごうとする集落の強い絆があったからだと思う。祭りにかかわる人は、どの顔も「自分たちの祭りだ」「こんなすばらしい祭りはどこにもないだろう」と誇らしく自慢しているようでもある。

少子化・高齢化で、集落の存続が危ぶまれる地域が増えていくが、この祭りが続く限りは心配ないだろう。ふるさとを後にした若者も田舎に帰り、祭りを楽しんでいる。お金では買えない幸福を感じるものが田舎にはある。継承しなければならないのは、祖先から受け継いできた豊かな自然であり、祖先が知恵を絞りながら築いてきた人間関係であり、そこで培われた祭りや伝承行事などの文化や生活様式だ。人間が生きていく目的が幸福を追求することだとすれば、競争社会で物やお金を貯めることよりも人間関係を豊かにしお互いに助け合い協力し合うこと、地域社会で職業や年齢・地位を超えてお祭りのような伝統行事に参加し絆を深めることが幸せな生活につながるのではないだろうか。

お熊甲祭の賑わいの中で、自分も少し幸せな気分になった。今、私たちが失いつつあるものを見直し、子どもたちに残さなければならないものは地域社会の『絆』だと思う。これからそんな地域社会をつくっていかねばならないと思う。

市長へのメール「前略、市長さん」(<http://www.city.nanao.lg.jp/shicho/>)では、市民のみなさんから市長へのご意見・ご質問などをお待ちしています。



このコーナーでは、市内のクラブ活動やサークル活動などを紹介します。



## サロン サラダボウル nanao1's



「外国人と日本人がともに理解し合える場所に」との願いから、今年新たに誕生。その名前にもこだわりが隠されている。形をなくし何が入っているのかわからないミックスジュースではなく、何が入っているかがはっきりわかる器に盛られたサラダでありたい。日本に住む外国人が、それぞれの個性をなくして日本に溶け込むのではなく、それぞれの個性や持ち味を生かしながら「七尾がひとつに」との強い思いが込められている。

毎月第2・第4土曜日の14時から16時まで、七尾市役所内の2階食堂跡を使って活動。参加資格はなく、会の趣旨に賛同する人であれば、外国人でも日本人でも、また子どもから大人まで誰でも自由に参加できるのも特徴だ。

「限られた人たちだけが集まる場所ではありません。この場所が外国人と外国人を、そして外国人と日本人をつなぐ場所でありたい」とメンバーは話す。興味がある方はぜひ一度ご参加を。

☎ 市民男女協働課 杉田・タイ

☎ 53-8633

メール: taii@city.nanao.lg.jp

## 市長談話室

### 市政への思いやアイデア をお聞かせください!

①まちづくりに関すること、②生活環境に関することなど前向きなアイデアをお聞かせください。(個人・グループどちらでも可。1組30分以内)

●10月26日(火) 15:00～17:00  
会場: 田鶴浜市民センター 第1会議室

●11月10日(水) 15:00～17:00  
会場: 七尾市役所 1階102会議室

※申し込みは1週間前まで  
(公務により中止になる場合あり)

☎・申 市民男女協働課 ☎53-8633